

質問①

仕様書 1 頁 4.業務対象地域に「本業務においてヒアリングを行う関係者の意向や…」とあり、4 頁 6.業務内容の (8) 実績報告書〈国費事業〉の中にも「エリアプラットフォームの構築支援に伴う関係者へのヒアリング記録」とあります。

特に件数等の指定は無いのですが、エリアプラットフォーム構築支援に伴う関係者へのヒアリングには、こういった関係者を何件程度想定されていますでしょうか？実施するタイミングや何件程度になるかについて、想定があればご教示ください。

回答

本業務におけるエリアプラットフォーム構築支援に伴う関係者へのヒアリングについて、仕様書上で件数等の明確な指定はございませんが、本市で想定している内容を以下のとおりです。

想定している関係者の範囲

エリアプラットフォームの構築に必要となる構成員名簿は、以下の関係者を想定しております。

地元企業・事業者等（商店街関係者、河内長野都市開発株式会社）

大学教授（専門は中心市街地における公共空間の活用、官民連携によるエリアマネジメントなど）

駅前活性化に特化したまちづくり団体

金融機関（銀行、保険会社など）

商工団体（商工会、商店連合会等）

公共交通事業者

その他本市まちづくりに賛同する企業、NPO 法人等

※状況に応じて、対象者は調整可能です。

ヒアリング件数の想定

エリアプラットフォームの構築支援に伴う関係者へのヒアリングとして、概ね 20 件程度を基本想定としております。

なお、本市において、エリアプラットフォームへの参加が見込まれる関係者について、事前に一定の意向を打診し、参加の可能性を把握しておく予定です。

そのうえで、具体的な内容説明や詳細なヒアリングにつきましては、本業務を実施する事業者より改めてご説明・ご確認いただくことを想定しております。

実施タイミングの想定

ヒアリングは以下のタイミングを想定しています。

業務初期（エリアプラットフォーム構築のため）

実績報告書作成前（ヒアリング記録の整理・反映のため）

基本的には、業務開始後早期に集中して実施することを想定しています。

質問②

本事業と、「河内長野駅周辺地区にぎわい創出社会実験事業支援業務」(<https://www.city.kawachinagano.lg.jp/soshiki/2/122461.html>) との連携については、どのように想定されていますでしょうか。

回答

「河内長野駅周辺地区にぎわい創出社会実験事業支援業務」につきましては、西條薬局跡地の暫定整備を目的とした事業であり、にぎわい創出のためのイベントを実施する予定です。

イベントに関する定量調査も行うため、そのデータを共有し、エリアプラットフォーム会議における跡地の本格整備の検討材料として活用する可能性がございます。

質問③

4 頁 6.業務内容の(7)について、ノバティながの北館の長期修繕計画を企画提案するにあたり、事前に閲覧またはコピーさせていただくことは可能でしょうか。

回答

企画提案段階では、当該修繕計画の整合性を評価できる体制・能力を有しているかを確認することを目的としております。

そのため、長期修繕計画の閲覧・コピーにつきましては、実際に業務に着手いただく段階で行っていただくこととしており、企画提案段階では想定しておりません。

質問④

参加表明書提出にあたっての様式第 3 号「実績報告書」の記入についてお尋ねします。一番右の欄の「対象業務」について、注意書きの※2 にて「参加要件に該当するものは必須、その他業務についてもできる範囲で記入してください」とある点は確認しておりますが、「業務名称」をまず記載の上、本業務の要件に該当する内容を説明する文書を同じ欄に書き加えていく、という理解で合っておりますでしょうか？些細なことで恐縮ですが、ご教示ください。

回答

「業務名称」を記載のうえ、内容を同じ欄に追記していただければ結構です。